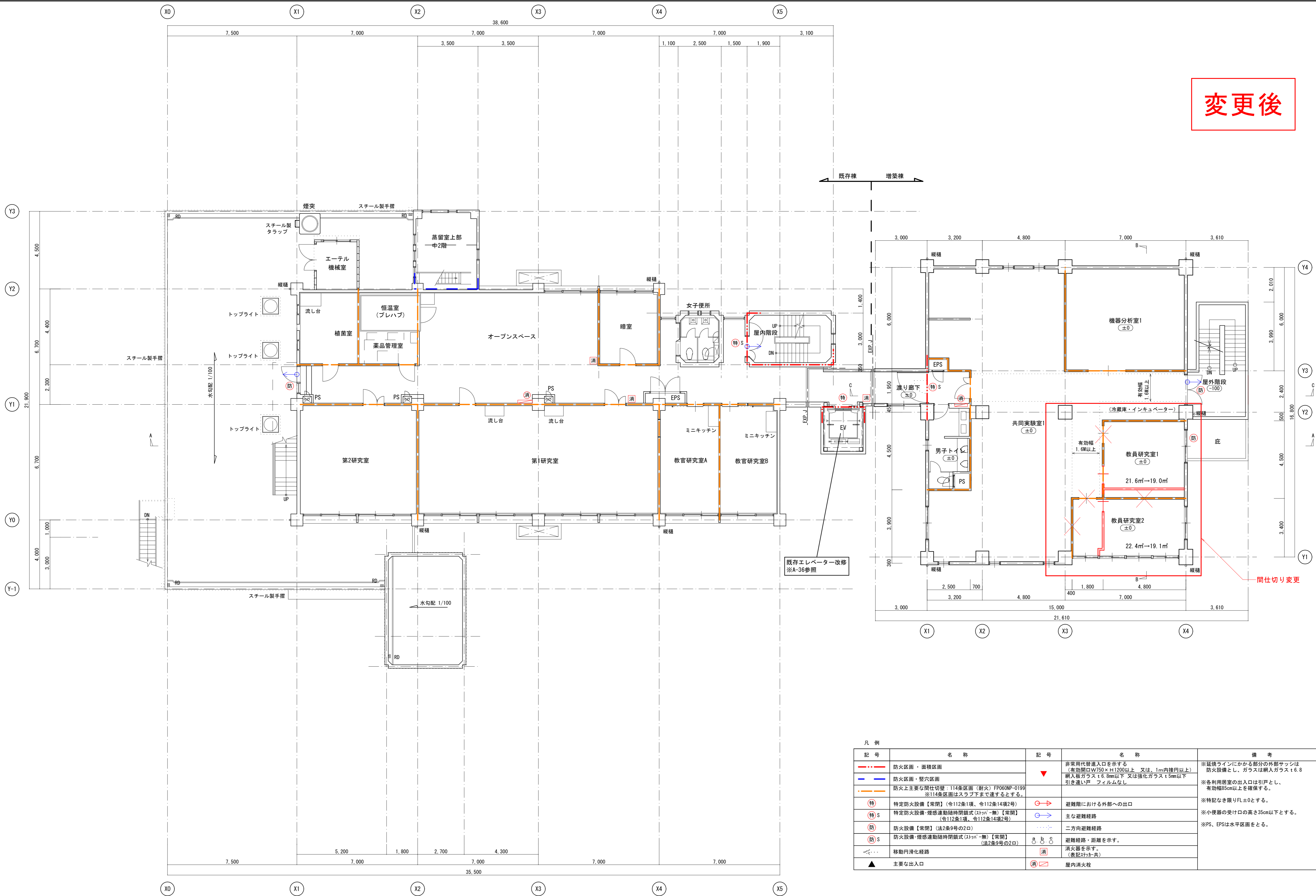


変更記載事項

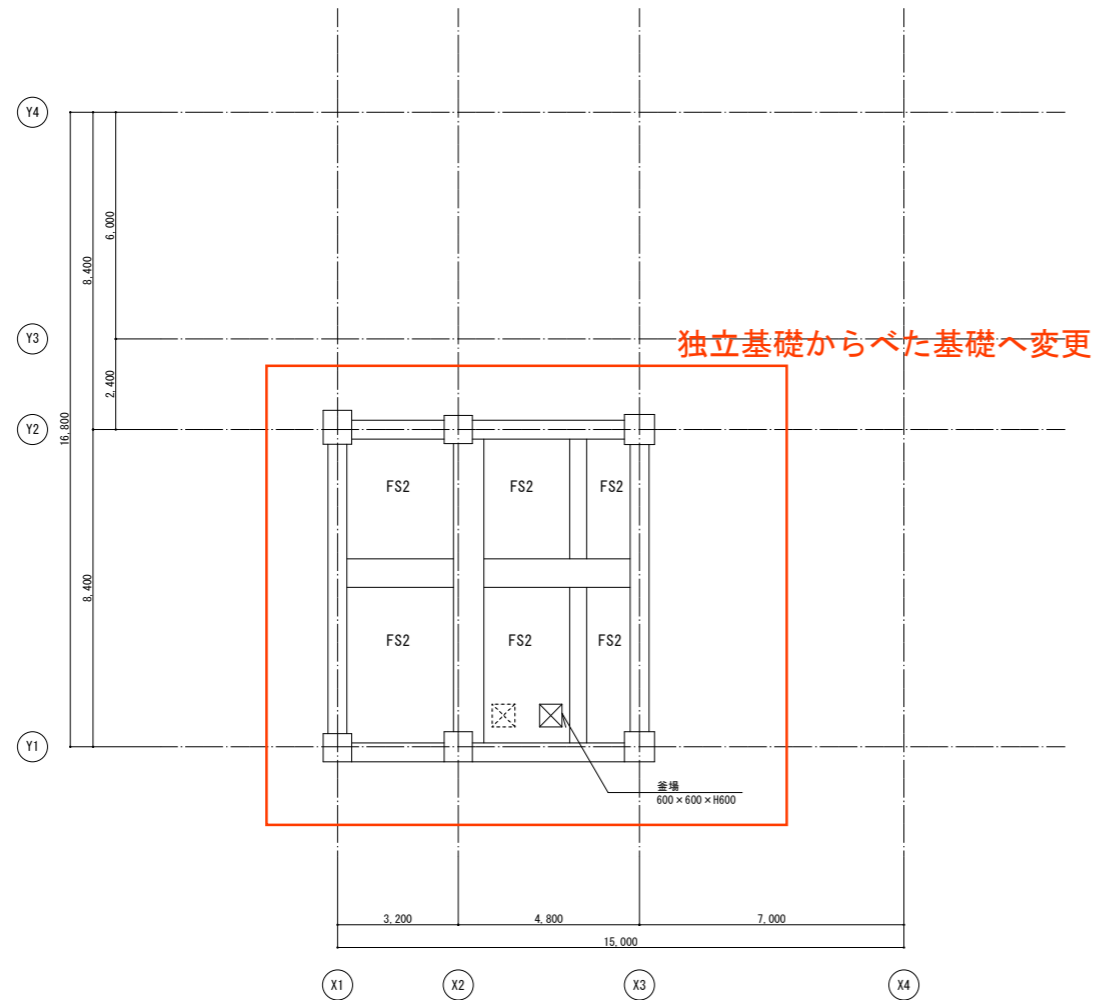
令和2年9月24日

No	図面番号	変更前	変更後
1	A-07	2階教員研究室1と教員研究室2の平面	2階教員研究室1と教員研究室2の平面形状の変更
2	S-09 S-12 S-13	基礎伏図:地下1階レベルの独立基礎(F1~F4) 基礎下端の設計GL-4630 B1階梁伏図:FW25	基礎伏図:独立基礎(F1~F4)を取りやめ、べた基礎へ変更 基礎下端の設計GL-4530に修正、スラブレベル、B1FL-1580を追記 B1階梁伏図:FW30に修正、FB10追記
3	S-10 S-11	1階~R階梁伏図:Exp. JのW=150とW=75 R階梁伏図:室外機基礎6800×1100×520H	1階~R階梁伏図:Exp. JのW=200とW=125に変更 2階梁伏図:X4・Y2横にCG2(-130)追記、共通事項に「()内数値は2FLからの梁天端レベルを示す」を追記 R階梁伏図:室外機基礎7300×1100×520Hに修正
4	S-12	Y1通り軸組図:X4通りF7 Y2通り軸組図:X4通りF5	Y1通り軸組図:X4通りF3に変更 Y2通り軸組図:X4通りF1に変更 外階段CG2追記
5	S-13 S-19	X1通り軸組図:Y4通りF7 X2通り軸組図:Y4通りF7 X3通り軸組図:Y4通りF6 X4通り軸組図:Y1通りF7、Y2通りF5、Y4通りF7	X1通り軸組図:Y4通りF3に変更 X2通り軸組図:Y4通りF3に変更 X3通り軸組図:Y4通りF2に変更 X4通り軸組図:Y1通りF3、Y2通りF1、Y4通りF3に変更
6	S-14	基礎リスト(1)	基礎リスト(1):独立基礎(F1~F4)を取りやめ、べた基礎へ変更したことによるリストの修正
7	S-15	基礎梁リスト・基礎小梁リスト	基礎梁リスト・基礎小梁リスト:FG13、FG21~FG23、FB2の修正、及び、FB10の追加
8	S-16	柱リスト・柱芯線図	柱リスト・柱芯線図:Y1通り柱芯寸法の修正
9	S-17	大梁リスト	大梁リスト:G11、G13の修正
10	S-18	小梁・壁・スラブリスト	小梁・壁・スラブリスト:CG2・FW30の追加、FS2の修正

変更後

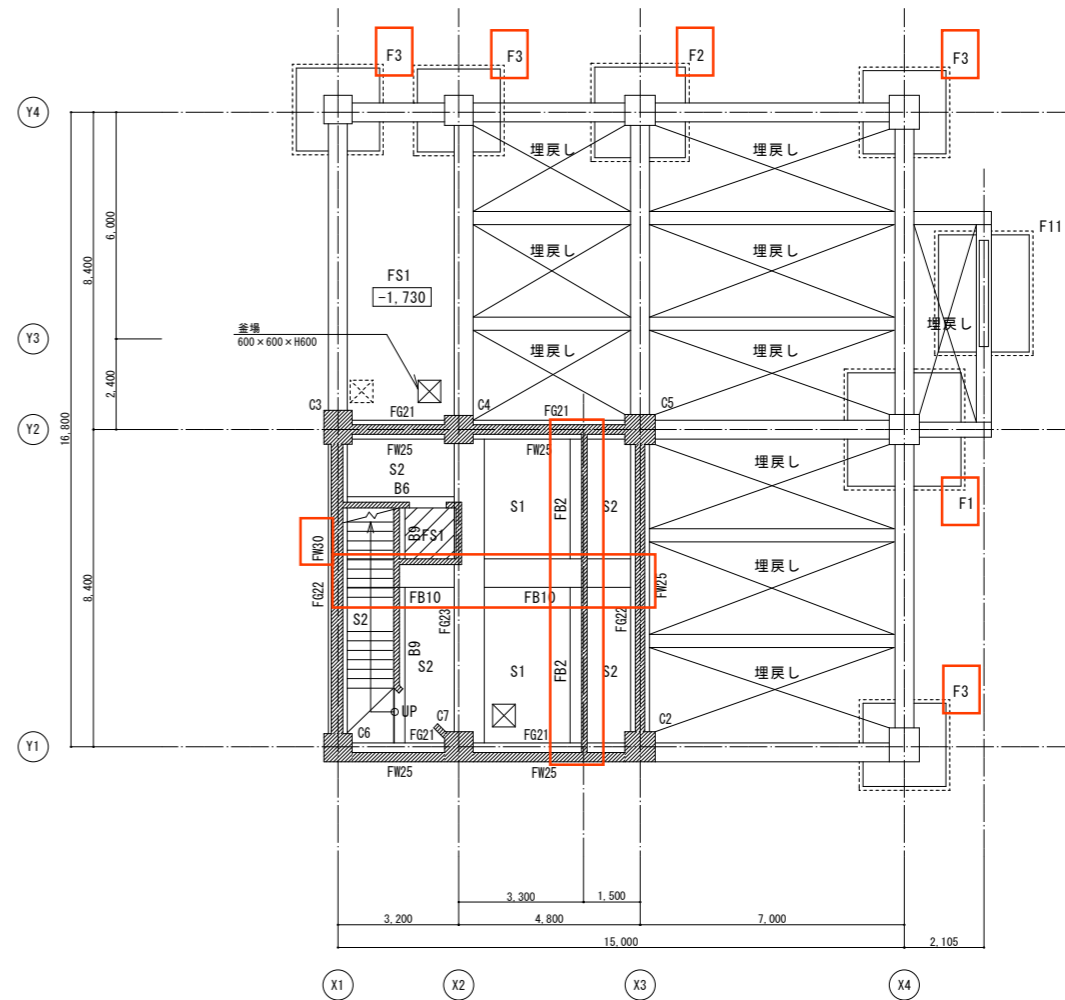


記号	名称	記号	名称	備考
---	防火区画・面積区画	▼	非常用代替出入口を示す (有効開口W750×H1200以上 又は、1m内接門以上)	※延焼ラインにかかる部分の外部サッシは 防火設備とし、ガラスは網入ガラス t6.8
---	防火区画・整穴区画	○	網入板ガラス t6.8mm以下 又は強化ガラス t5mm以下 引き違い戸 フィルムなし	※各利用層室の出入口は引戸とし、 有効幅85cm以上を確保する。
---	防火上主要な間仕切り壁：114条区画 (耐火 FPO60NP-0199) ※114条区画はスラブ下まで達するとする。	○→	避難階における外部への出口	※特記なき限りFL±0とする。
(特)	特定防火設備【常閉】(令112条1項、令112条14項2号)	○→	避難階における外部への出口	※特記なき限りFL±0とする。
(特)S	特定防火設備・煙感運動時閉鎖式(スリット=無)【常閉】 (令112条1項、令112条14項2号)	○→	主な避難経路	※小便器の受け口の高さ35cm以下とする。
(防)	防火設備【常閉】(法2条9号の2口)	○→	二方向避難経路	※PS、EPSは水平区画をとる。
(防)S	防火設備・煙感運動時閉鎖式(スリット=無)【常閉】 (法2条9号の2口)	○→	避難経路・距離を示す。	
---	移動円滑化経路	○	消火器を示す。 (表記は共通)	
▲	主要な出入口	消	屋内消火栓	



基礎伏図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 1FL=設計GL+880
 - 基礎下端 設計GL-4,530
 - スラブレベル: B1FL-1,580
 - ラップコンクリートを示す。
 - 上部床開口を示す。
 - 通気管、通水管、連通管を示す。
 - 増打ちを示す。
 - 方向



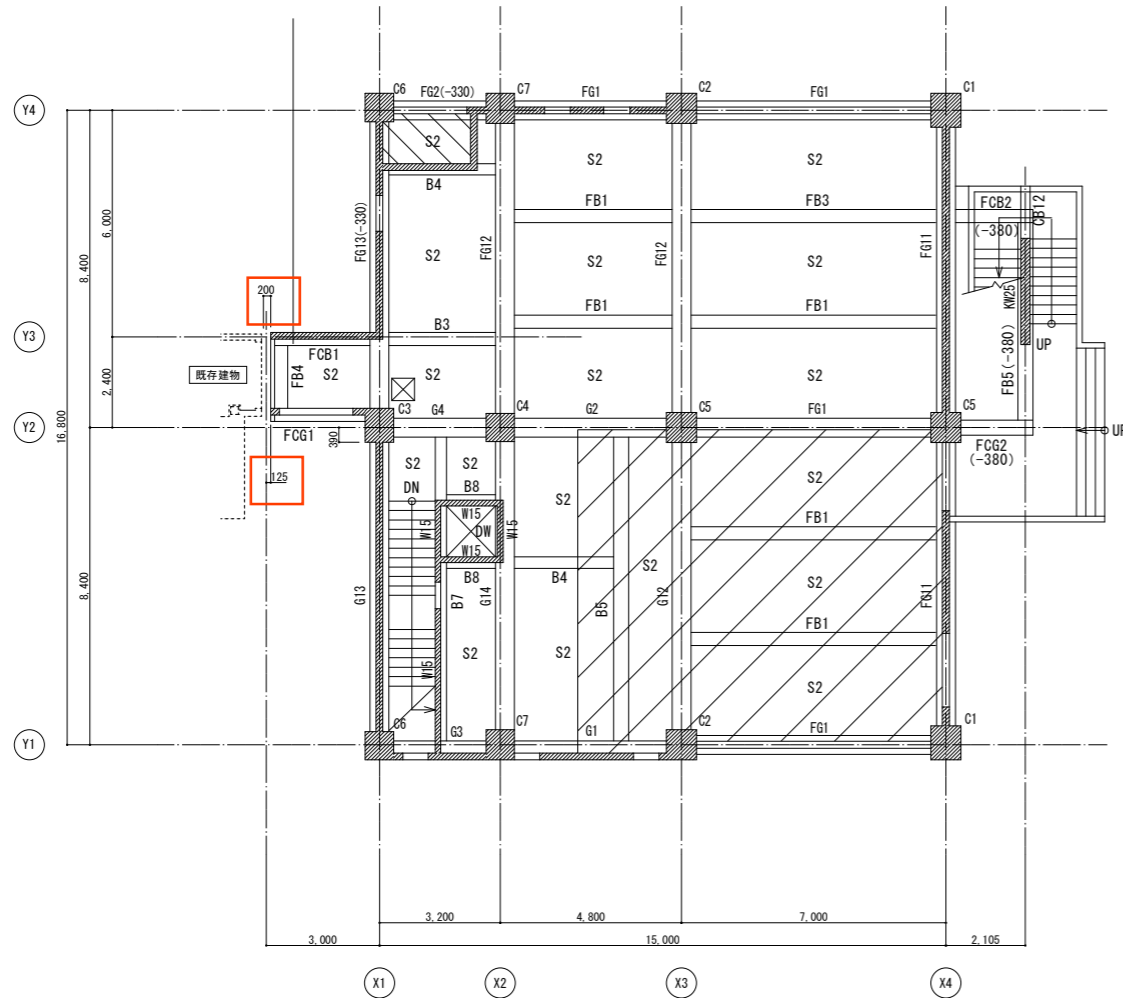
B1階梁伏図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 1FL=設計GL+880
 - 基礎下端 設計GL-1,200 (1階レベル基礎)
 - 鉄筋コンクリート壁 W15
 - スラブレベル: B1FL-30 基礎梁レベル: B1FL-300 基礎小梁レベル: B1FL-300 小梁レベル: 1FL-30
 - 1FLからのスラブレベルを示す。
 - 1FL-700を示す。
 - ラップコンクリートを示す。
 - 増打ちを示す。
 - 床開口を示す。
 - 上部床開口を示す。
 - 方向

変更後

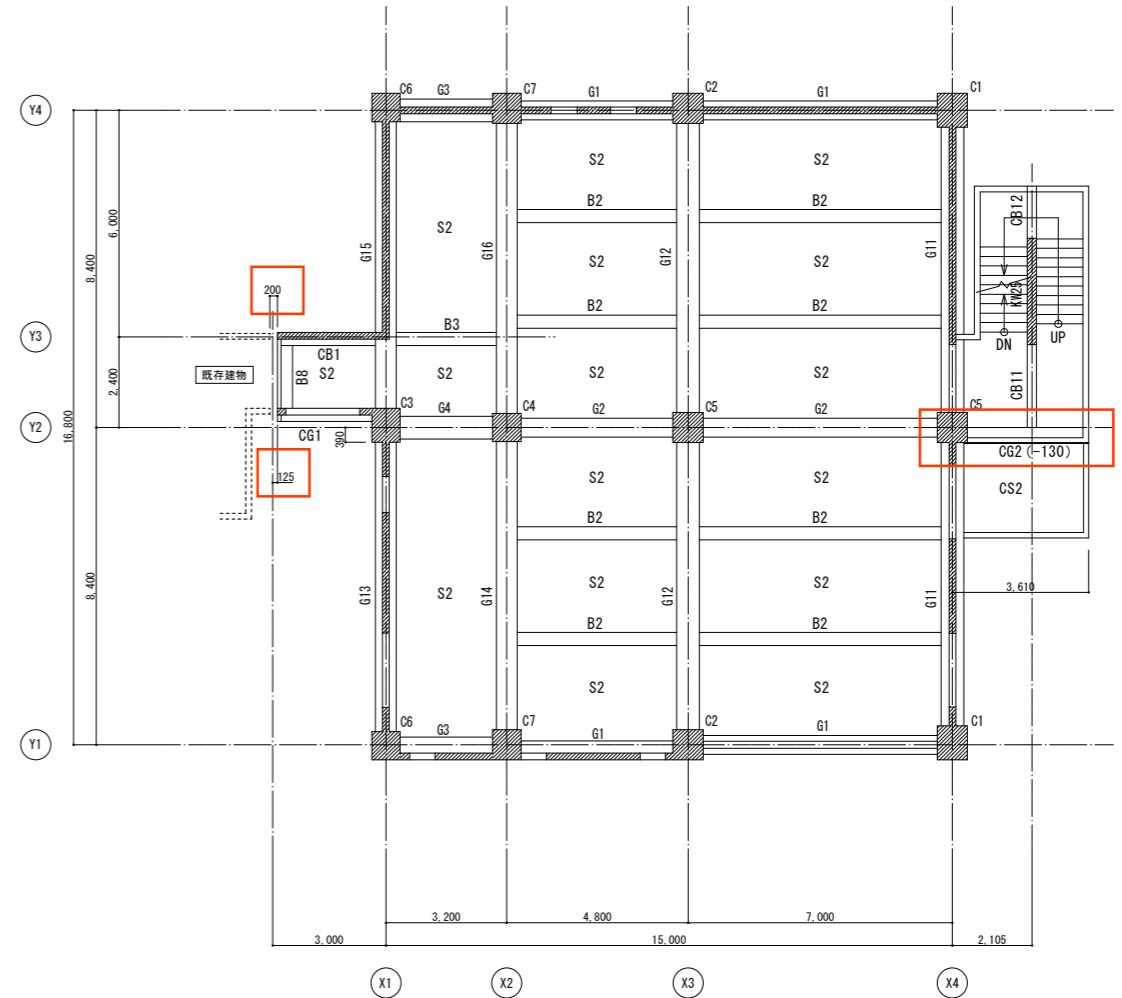
一級建築士 第312460号
構造設計一級建築士 第7865号
寺田 賀一

記	山梨大学 施設・環境部				業務名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務		工事名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営工事		設計年月 令和2年7月	
	部	課	係	員	株式会社 総企画設計	一級建築士事務所 東京都知事登録 第59590号 一級建築士(大臣) 第233766号 管理建築士 宮田 弥吉郎	図面名称 基礎伏図・B1階梁伏図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-09	



1階梁伏図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 鉄筋コンクリート壁 W18
 - スラブレベル: 1FL-30 基礎梁レベル: 1FL-180 基礎小梁レベル: 1FL-180 小梁レベル: 1FL-180
 - () 内数値は1FLからの梁天端レベルを示す。
 - 1FLからのスラブレベルを示す。
 - 1FL-50を示す。
 - 1FL-330を示す。
 - 構造スリット (縦横スリット配置の詳細は軸組図を参照すること。)
 - 設備基礎を示す。
 - 増打ちを示す。
 - 床開口を示す。
- 方向
-



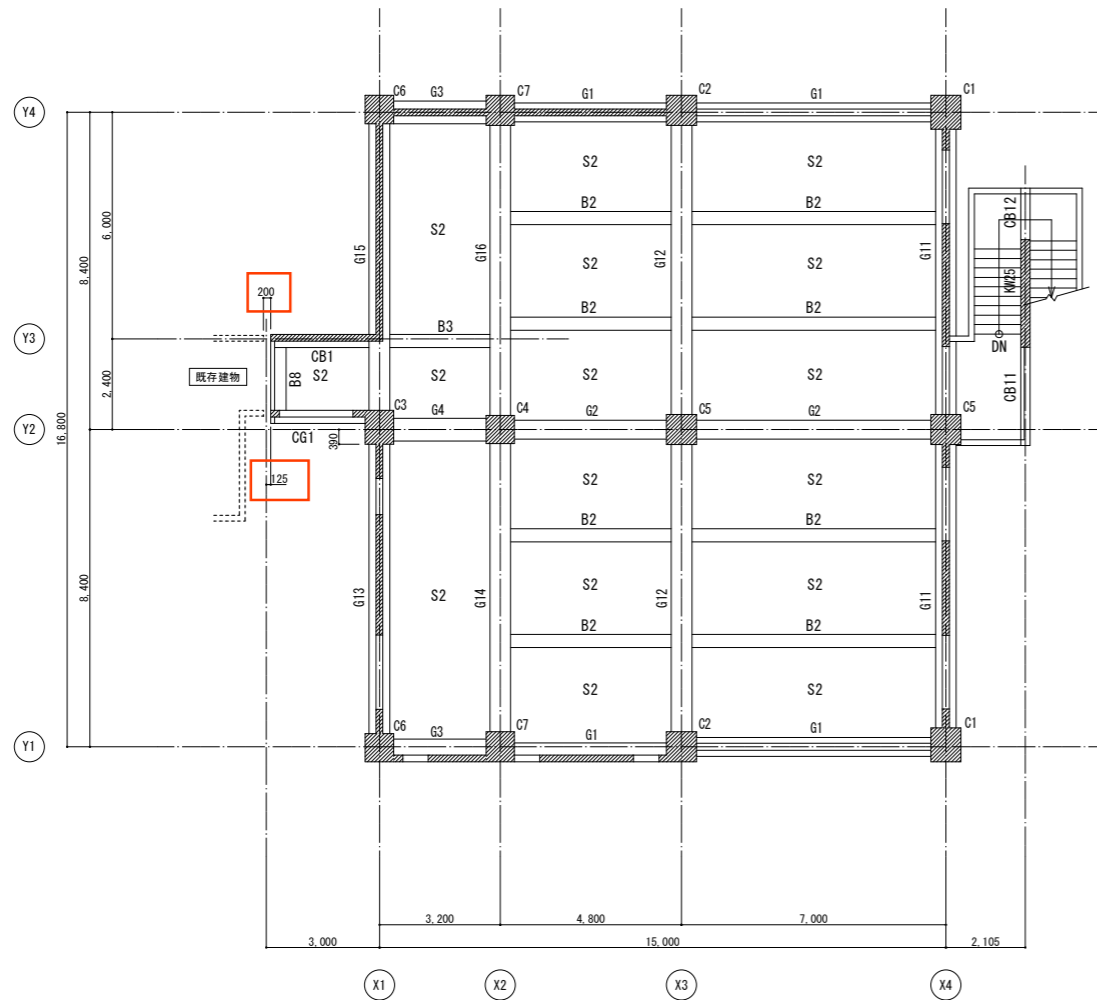
2階梁伏図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 鉄筋コンクリート壁 W18
 - スラブレベル: 2FL-30 大梁レベル: 2FL-30 小梁レベル: 2FL-30
 - () 内数値は2FLからの梁天端レベルを示す。
 - 構造スリット (縦横スリット配置の詳細は軸組図を参照すること。)
 - 増打ちを示す。
- 方向
-

変更後

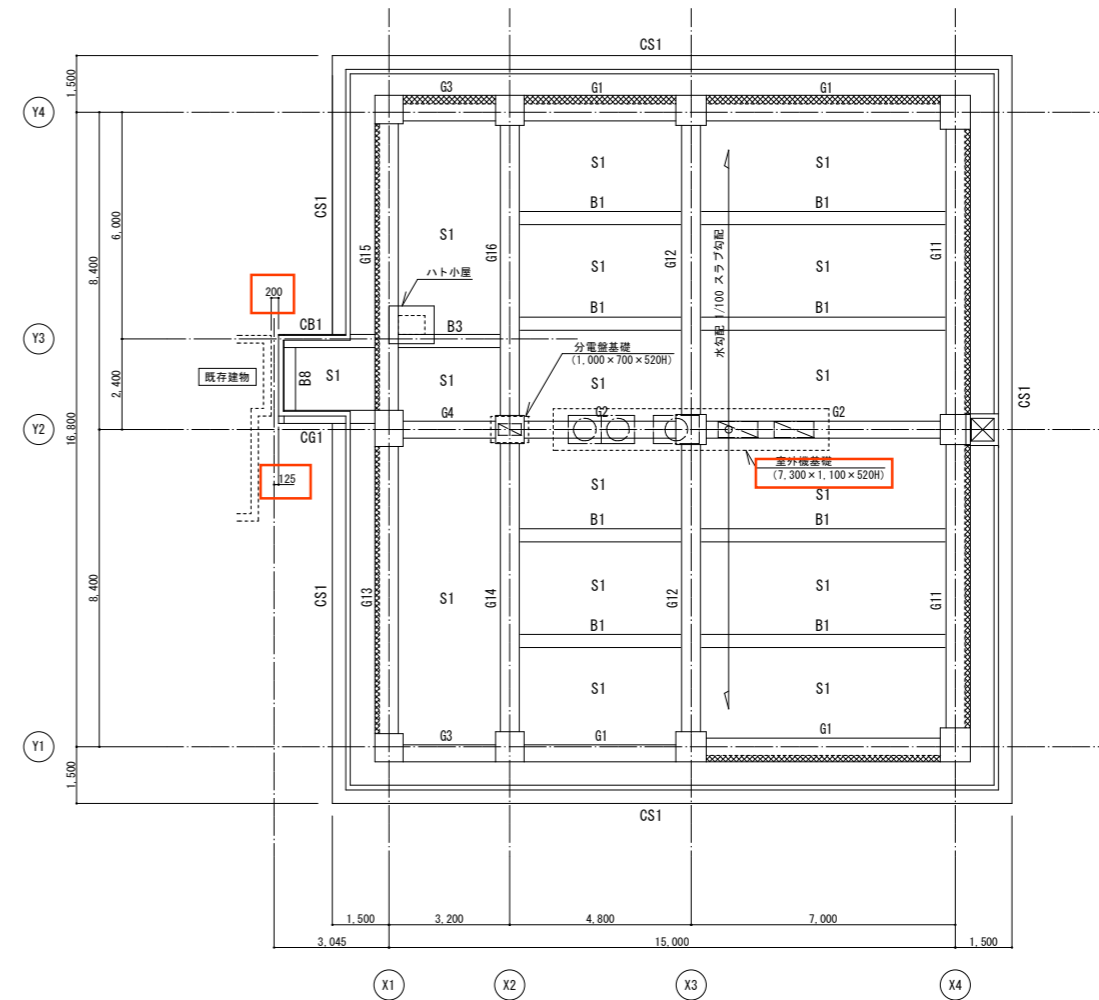
一級建築士 第312460号
構造設計一級建築士 第 7865号
寺田 賢一

記	山梨大学 施設・環境部				業務名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務		工事名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営工事		設計年月 令和2年7月	
	部	課	係	員	株式会社 総企画設計 西東京支店	一級建築士事務所 東京都知事登録 第59590号 一級建築士(大臣) 第233766号 管理建築士 宮田 秀吉郎	図面名称 1階梁伏図・2階梁伏図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-10	



3階梁伏図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 鉄筋コンクリート壁 W18
 - スラブレベル: 3FL-30 大梁レベル: 3FL-30 小梁レベル: 3FL-30
 - 構造スリット (縦横スリット配置の詳細は軸組図を参照すること。)
 - 増打ちを示す。
- 方向
-



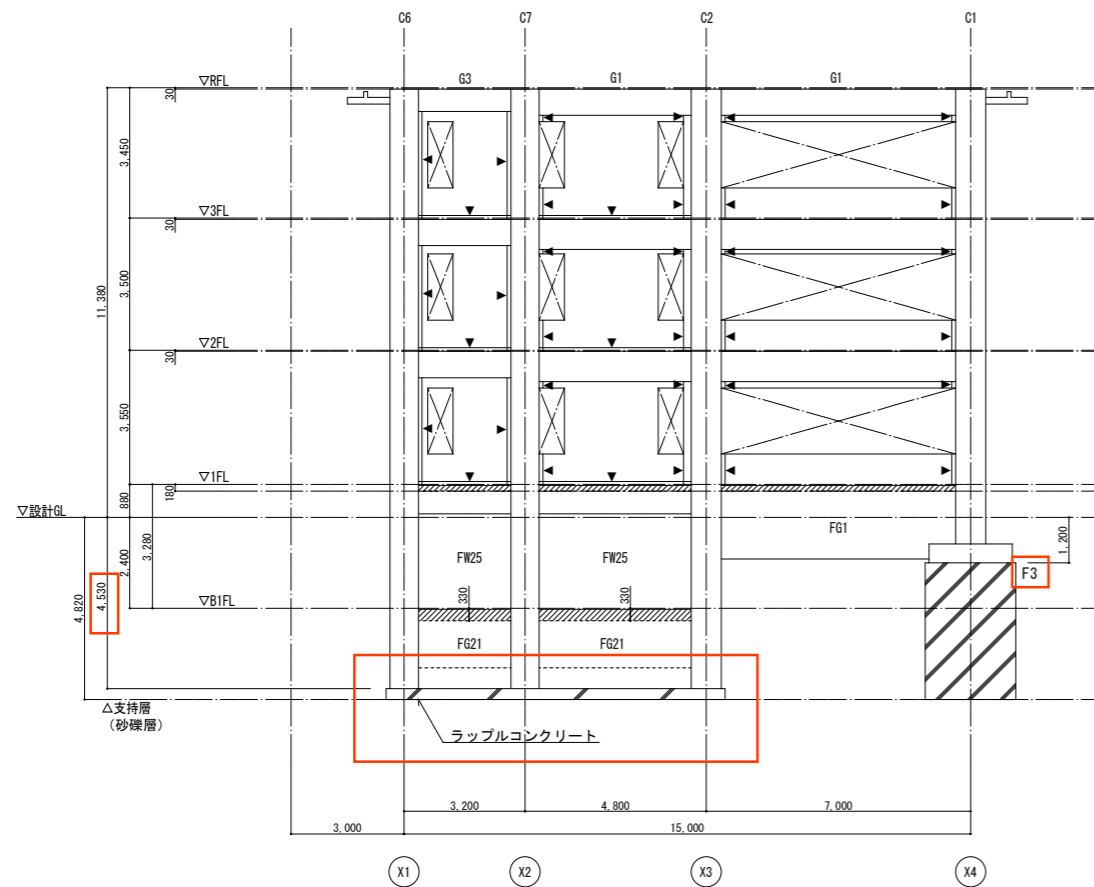
R階梁伏図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 大梁レベル: FL-30 小梁レベル: FL-30
 - スラブレベル: 意匠図(水勾配)による。
 - FLからのスラブレベルを示す。
 - 設備基礎を示す。
 - 増打ちを示す。
- 方向
-

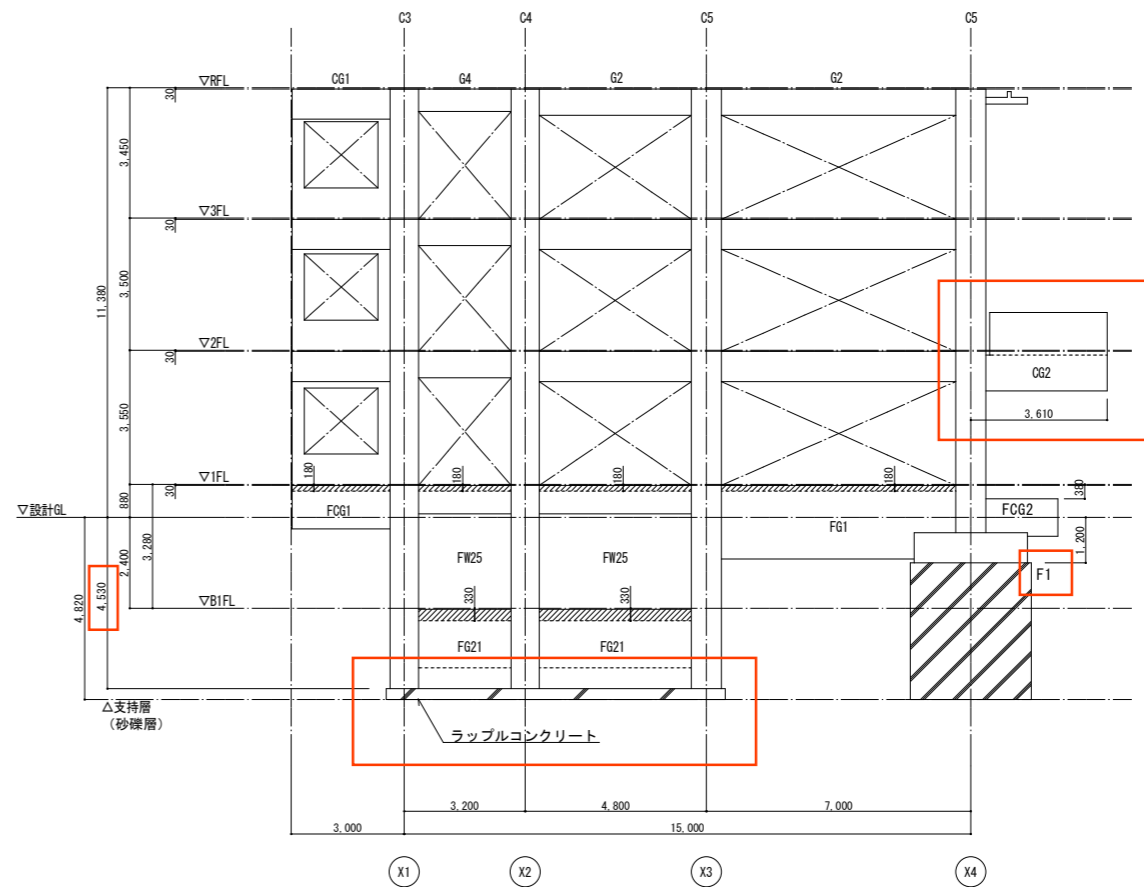
変更後

一級建築士 第312460号
 構造設計一級建築士 第7865号
 寺田 賀一

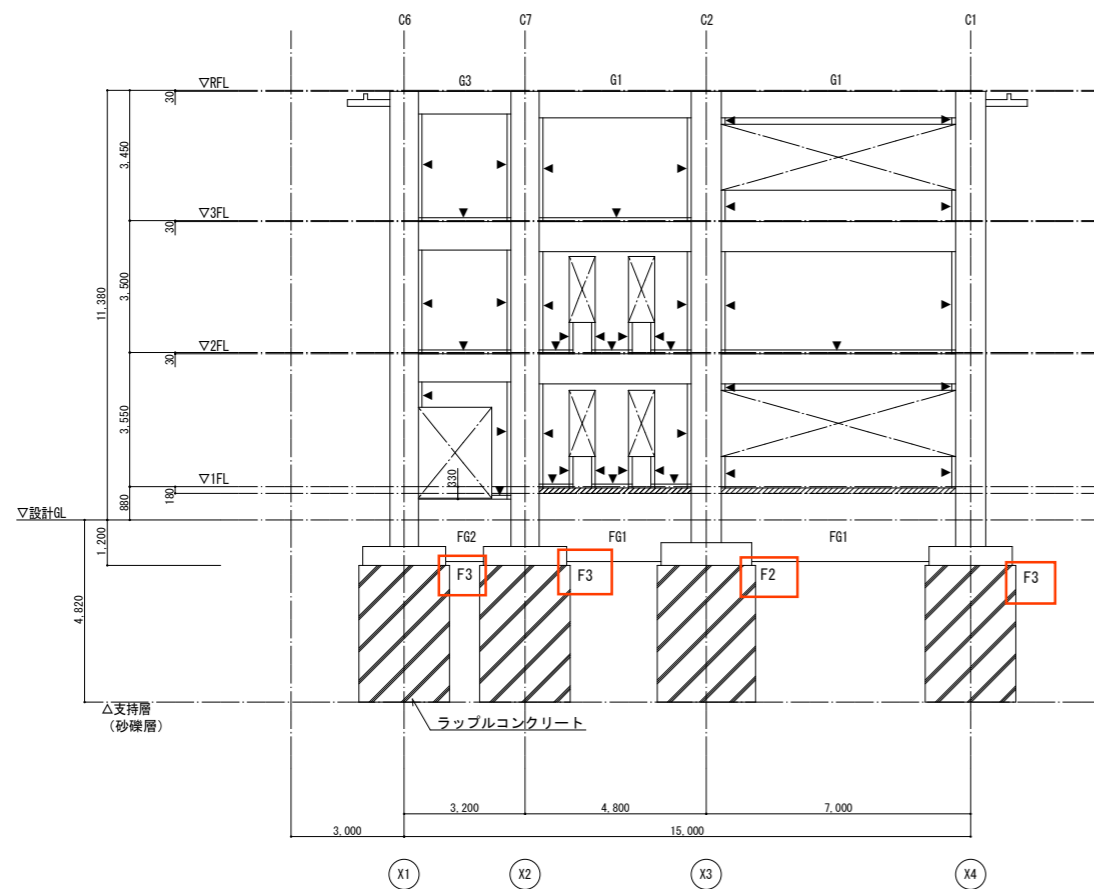
記	山梨大学 施設・環境部				業務名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務		工事名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営工事		設計年月 令和2年7月	
	課長	課員	補員	備考	株式会社 緯企画設計 西東京支店	一級建築士事務所 東京都知事登録 第59590号 一級建築士(大臣) 第233766号 管理建築士 宮田 秀吉郎	印	図面名称 3階梁伏図・R階梁伏図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 S-11



Y1通り軸組図 S=1/100



Y2通り軸組図 S=1/100



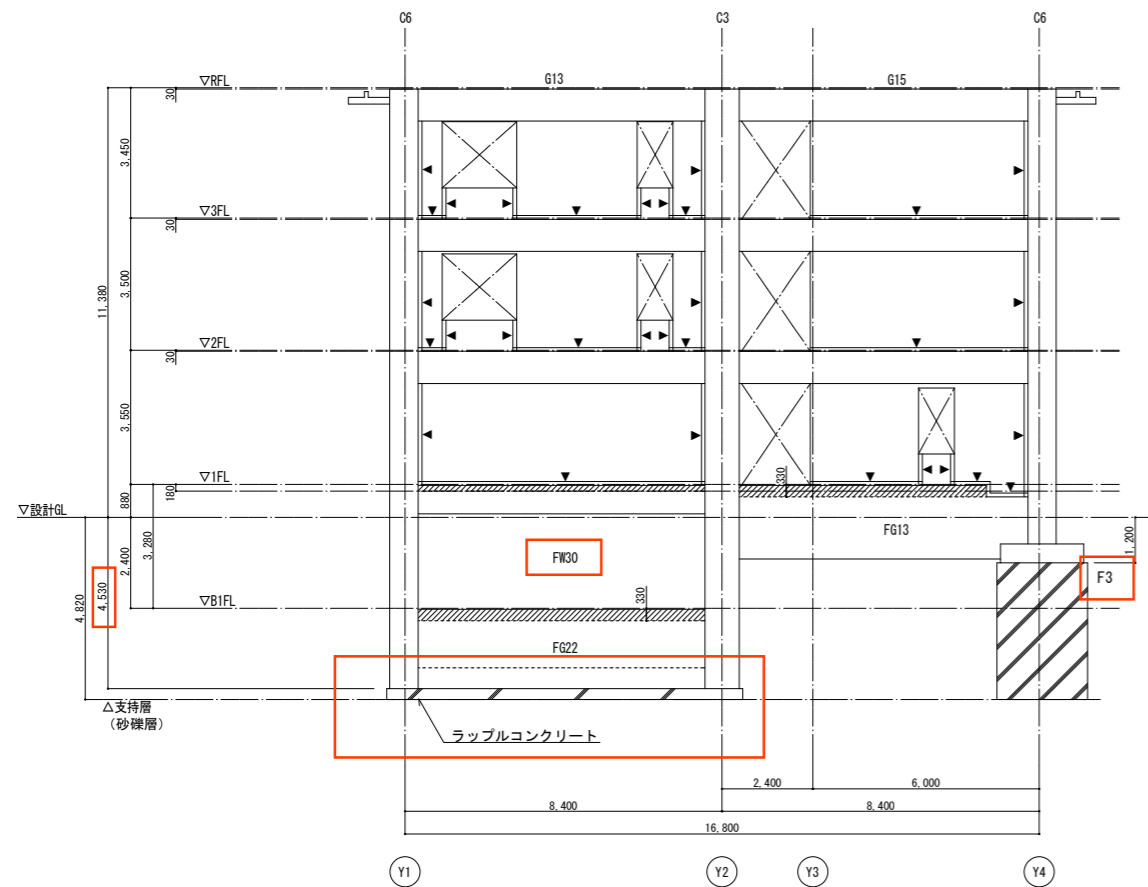
Y4通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 開口部
 - 壁厚 W18
 - 構造スリット
 - 増打ちを示す。

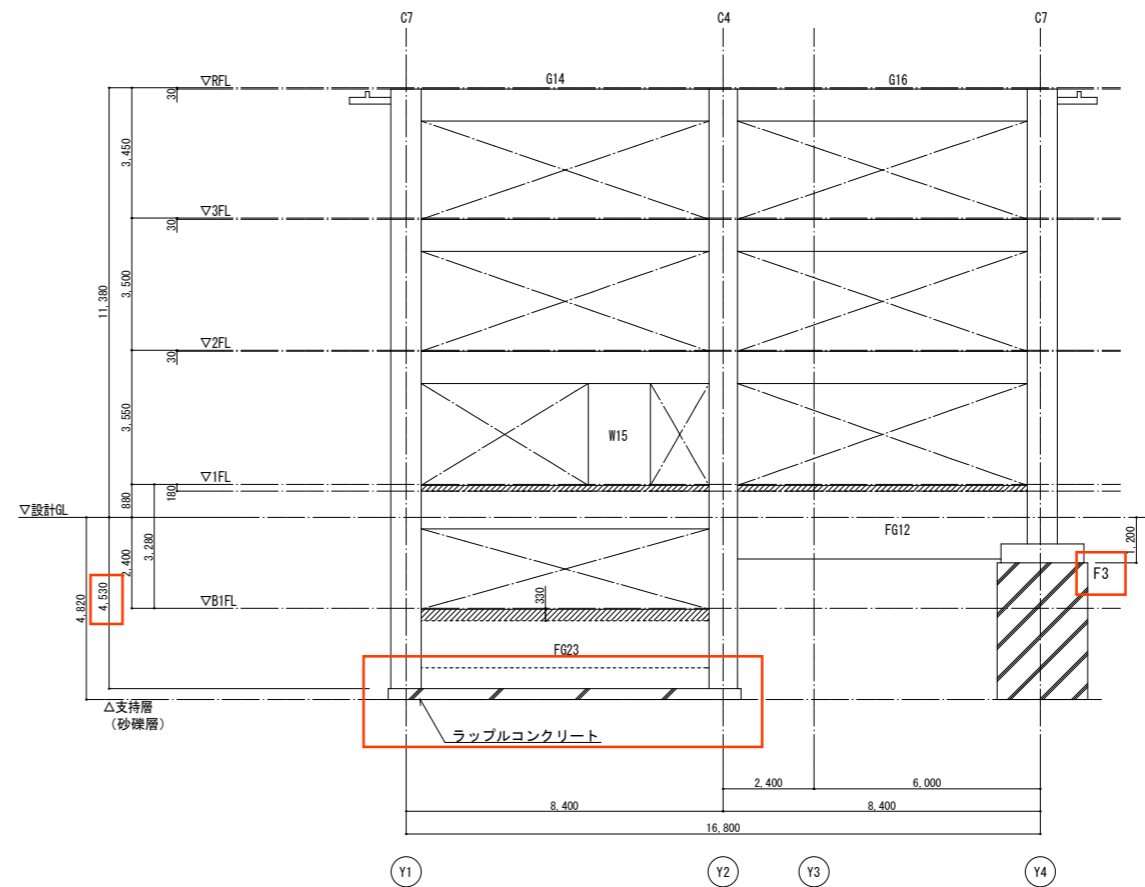
変更後

一級建築士 第312460号
 構造設計一級建築士 第7865号
 寺田 賢一

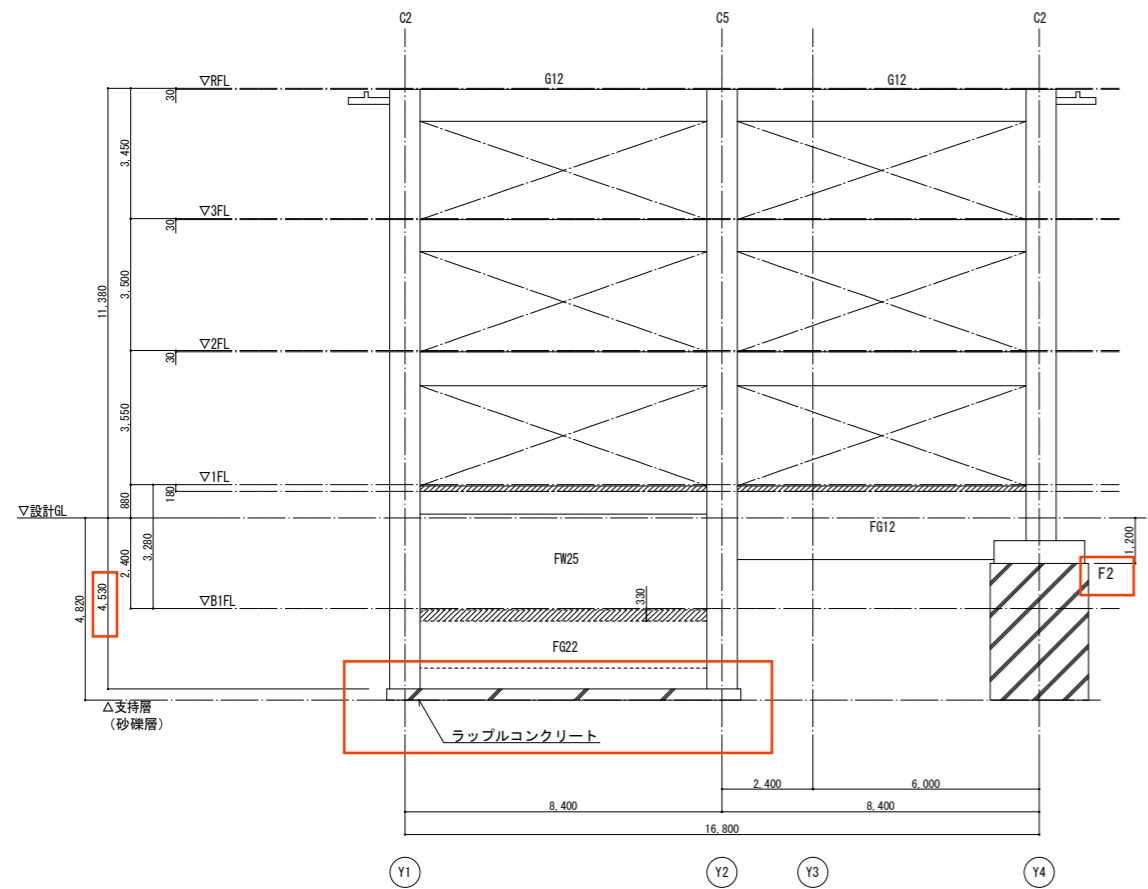
山梨大学 施設・環境部 株式会社 総企画設計	業務名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務	工事名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営工事	設計年月 令和2年7月
	図面名称 軸組図(1)	図面番号 S-12	縮尺 A1:1/100 A3:1/200



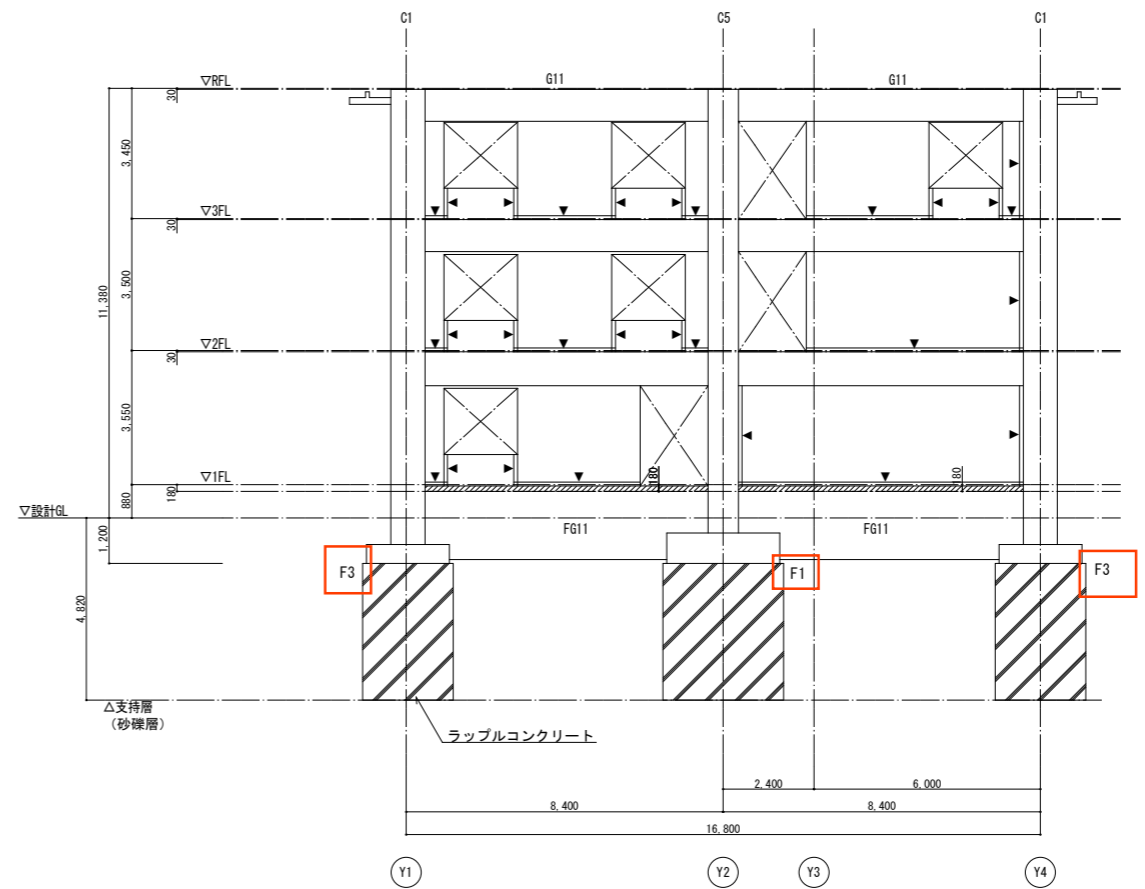
X1通り軸組図 S=1/100



X2通り軸組図 S=1/100



X3通り軸組図 S=1/100



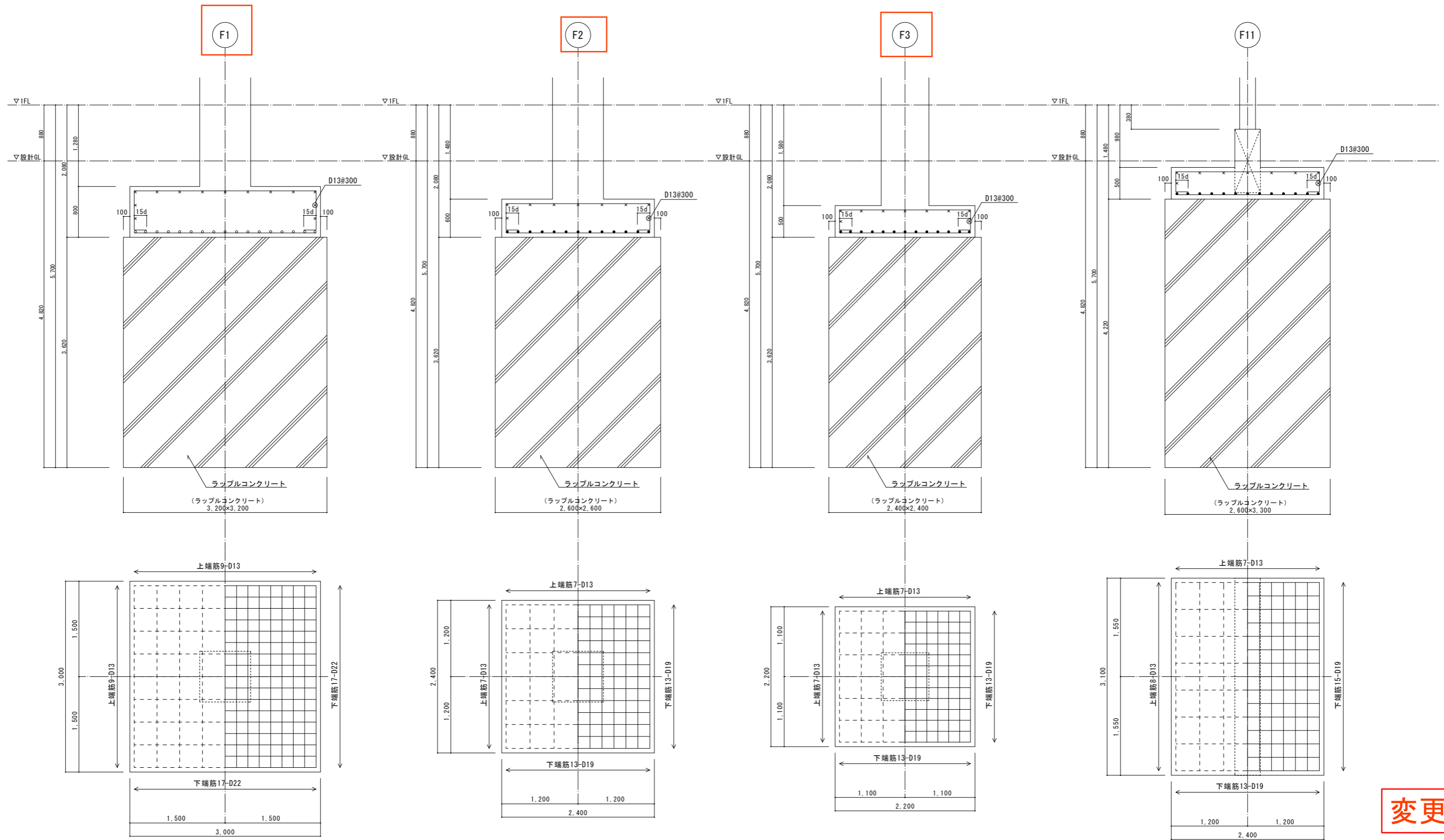
X4通り軸組図 S=1/100

- 共通事項 特記なき限り
- 開口部
 - 壁厚 W18
 - 構造スリット
 - 増打ちを示す。

変更後

一級建築士 第312460号
 構造設計一級建築士 第7865号
 寺田 賢一

記	山梨大学 施設・環境部				業務名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務		工事名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営工事		設計年月 令和2年7月	
	部	課	係	員	株式会社 総企画設計 西東京支店	一級建築士事務所 東京都知事登録 第59590号 一級建築士(大臣) 第233766号 管理建築士 宮田 秀吉郎	図	名 軸組図(2)	図番 7865号	図名 S-13



変更後

一級建築士 第312460号
 構造設計一級建築士 第 7865号
 寺田 賢一

山梨大学 施設・環境部 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務	業務名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務	工事名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営工事	設計年月 令和2年7月
	株式会社 総企画設計 西東京支店 一級建築士事務所 東京都知事登録 第59590号 一級建築士(大臣) 第233766号 管理建築士 宮田 秀吉郎	図面名称 基礎リスト(1)	図面番号 S-14

基礎梁リスト 1/40

共通事項 特記なき限り ・巾止筋 D10-@1,000 ・端部定着長さは、ふかし部分を除く。

符号	FG1	FG2		FG11	FG12		FG13		FG21	FG22	FG23
位置	全断	全断		全断	両端	中央	全断		全断	全断	全断
断面											
上端筋	5-D25	5-D25		6-D25	5-D25	4-D25	5-D25		3-D22	3-D22	18-D25
下端筋	5-D25	5-D25		6-D25	5-D25	4-D25	4-D25		3-D22	3-D22	18-D25
筋	□-D13 @200	□-D13 @100		□-D13 @200	□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @100
腹筋	6-D13	6-D13		6-D13	6-D13		6-D13		14-D13	14-D13	6-D13
備考									腹筋は柱内へL2定着	腹筋は柱内へL2定着	

基礎小梁リスト 1/40

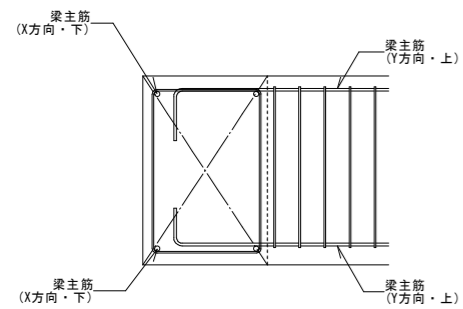
共通事項 特記なき限り ・巾止筋 D10-@1,000 ・端部定着長さは、ふかし部分を除く。

符号	FB1		FB2	FB3			FB4	FB5	FB10	FCG1	FCG2	FCB1	FCB2
位置	端部	中央	全断面	X3端	中央	X4端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面													
上端筋	5-D22	3-D22	7-D25	5-D22	3-D22	6-D22	3-D19	4-D22	18-D25	5-D22	6-D22	5-D22	6-D22
下端筋	3-D22	5-D22	7-D25	3-D22	5-D22	3-D22	3-D19	4-D22	18-D25	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22
筋	□-D10 @200		□-D13 @100	□-D13 @200			□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200
腹筋	2-D10		6-D13	2-D10			2-D10	2-D10	6-D13	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
備考													

FB10追加

誤記

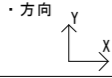
地中梁主筋位置要領図



変更後

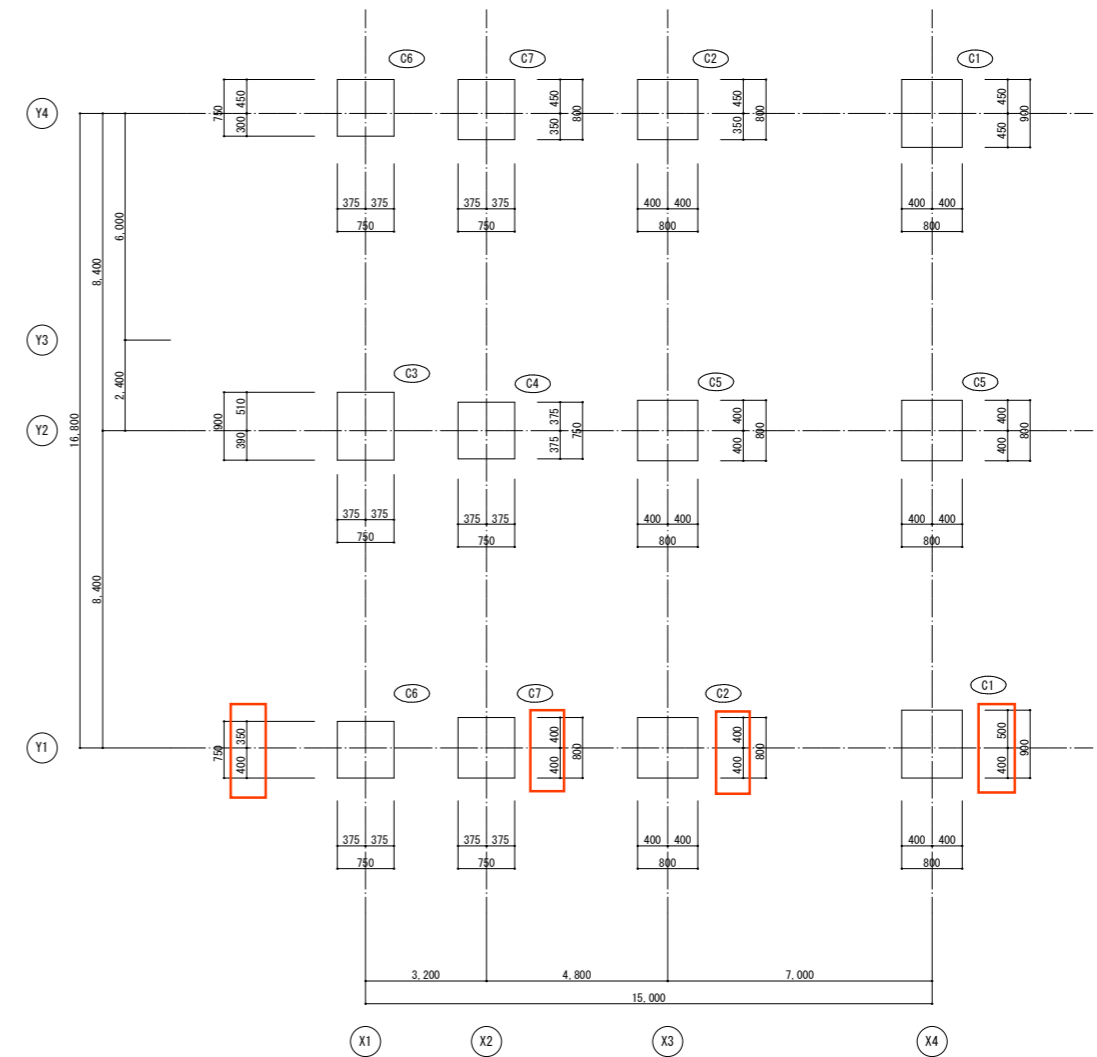
一級建築士 第312460号
構造設計一級建築士 第7865号
寺田 賢一

柱リスト 1/40



共通事項 特記なき限り ・帯筋はスパイラルフープ又は、溶接フープとする。

符号	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7
仕口内帯筋	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100
3階							
主筋	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25	12-D25	16-D25	16-D25
帯筋	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100
備考							
仕口内帯筋	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100
2階							
主筋	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25	12-D25	16-D25	16-D25
帯筋	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100
備考							
仕口内帯筋	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100
1階							
主筋	16-D25	16-D25	12-D25	12-D25	12-D25	16-D25	16-D25
帯筋	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	田-D13 #100	田-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100
備考							
仕口内帯筋	□-D13 #100						
仕口内帯筋		□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100
B1階							
主筋		16-D25	12-D25	12-D25	12-D25	16-D25	16-D25
帯筋		□-D13 #100	□-D13 #100	田-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	田-D13 #100
備考							
仕口内帯筋		□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100	□-D13 #100



柱芯線図 S=1/100・1/50

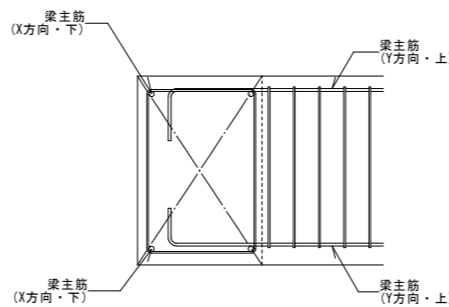
変更後

一級建築士 第312460号
 構造設計一級建築士 第 7865号
 寺田 賢一

符号	G1		G2		G3		G4		G11		G12		G13		G14			
	両端	中央	両端	中央	全断		全断		両端	中央	両端	中央	両端	中央	両端	中央		
R階																		
上端筋	5-D22	5-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22			6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25		
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22			4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		
肋筋	□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @100		□ -D13 @100		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200			
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			
備考																		
3階																		
上端筋	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	6-D25	7-D25			7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	6-D25	5-D25	6-D25	5-D25		
下端筋	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	5-D25	5-D25			5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25		
肋筋	□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @100		□ -D13 @100		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200			
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10			
備考																		
2階																		
上端筋	6-D25	4-D25	6-D25	4-D25	7-D25	7-D25			9-D25	5-D25	9-D25	9-D25	8-D25	5-D25	7-D25	5-D25		
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25			5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25		
肋筋	□ -D13 @100		□ -D13 @100		□ -D13 @100		□ -D13 @100		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200			
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		4-D10		4-D10		2-D10		2-D10			
備考																		
1階									/									
上端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22					4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22					4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	
肋筋	□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200				□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200		□ -D13 @200	
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10				2-D10		2-D10		2-D10		4-D10	
備考																		

符号	G15		G16	
	両端	中央	両端	中央
R階				
上端筋	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25
肋筋	□ -D13 @200		□ -D13 @200	
腹筋	2-D10		2-D10	
備考				
3階				
上端筋	7-D25	5-D25	6-D25	5-D25
下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
肋筋	□ -D13 @200		□ -D13 @200	
腹筋	2-D10		2-D10	
備考				
2階				
上端筋	8-D25	5-D25	7-D25	5-D25
下端筋	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25
肋筋	□ -D13 @200		□ -D13 @200	
腹筋	2-D10		2-D10	
備考				

地中梁主筋位置要領図



変更後

一級建築士 第312460号
構造設計一級建築士 第 7865号
寺田 賢一

小梁リスト 1/40

共通事項 特記なき限り ・ 巾止筋 D10@1000 ・ 端部定着長さは、ふかし部分を除く。

符号	B1			B2			B3	B4	B5		B6	B7		B8	B9	
位置	X2・X4端	中央	X3端	X2・X4端	中央	X3端	全断面	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面	端部	中央
断面																
上端筋	3-D22	3-D22	6-D22	3-D22	3-D22	5-D22	5-D22	3-D19	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D19	3-D22	3-D22
下端筋	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D19	4-D22	8-D22	3-D22	3-D22	6-D22	3-D19	3-D22	5-D22
筋	□-D10 #200			□-D10 #200			□-D10 #200	□-D10 #200	□-D13 #200		□-D10 #200	□-D10 #200		□-D10 #200	□-D10 #200	
腹筋	2-D10			2-D10			2-D10	-	2-D10		4-D10	2-D10		-	4-D10	
備考																

符号	CG1		CG2 CG2追加		CB1		CB11	CB12
位置	基礎	先端	基礎	先端	基礎	先端	全断面	全断面
断面								
上端筋	5-D22	5-D22	5-D25	3-D25	5-D22	5-D22	4-D22	4-D22
下端筋	3-D22	3-D22	3-D25	3-D25	3-D22	3-D22	4-D22	2-D22
筋	□-D10 #200		□-D13 #200		□-D10 #200		□-D10 #200	□-D10 #200
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	-
備考								

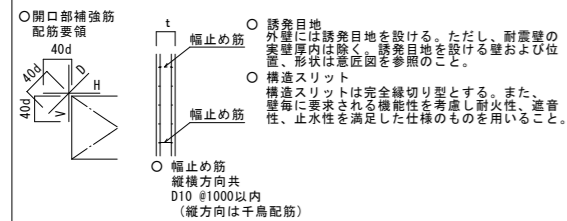
壁リスト 1/40

FW30追加

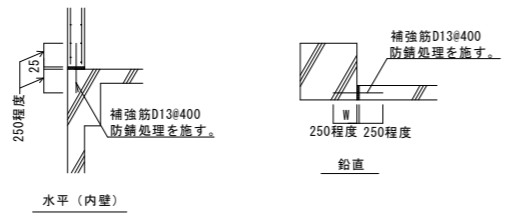
符号	W15	W18	FW25	FW30	KW25
板厚 t	150	180	250	300	250
縦断面					
縦筋	D10#150 フド'サ'ブル	D13#200 ダブル	D13#100 ダブル	D16#100 ダブル	D13#200 ダブル
横筋	D10#150 フド'サ'ブル	D13#200 ダブル	D13#150 ダブル	D16#100 ダブル	D13#200 ダブル
鉛直縁鉄筋 (V)	1-D13	-	-	-	-
水平縁鉄筋 (H)	1-D13	-	-	-	-
斜め鉄筋 (D)	1-D13	-	-	-	-
備考					端部補強筋 2-D16 横筋 フープ形状

凡例 および 特記なき限り、注記

構造スリット要領図 (完全スリット型)



※径が100φ未満の開口は補強不要

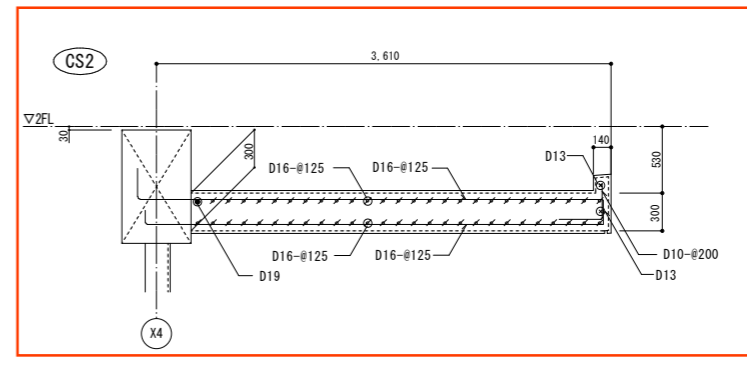
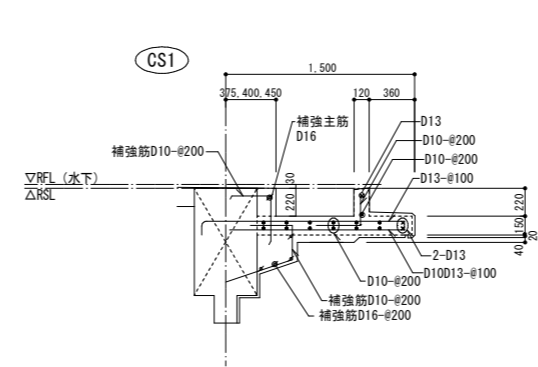


※耐火性を有し、かつ外壁については防水性を有する事 (意匠図による)
※スリット幅Wは、壁壁・そで壁等の高さの1/200以上かつ、25mm以上とする。

スラブリスト

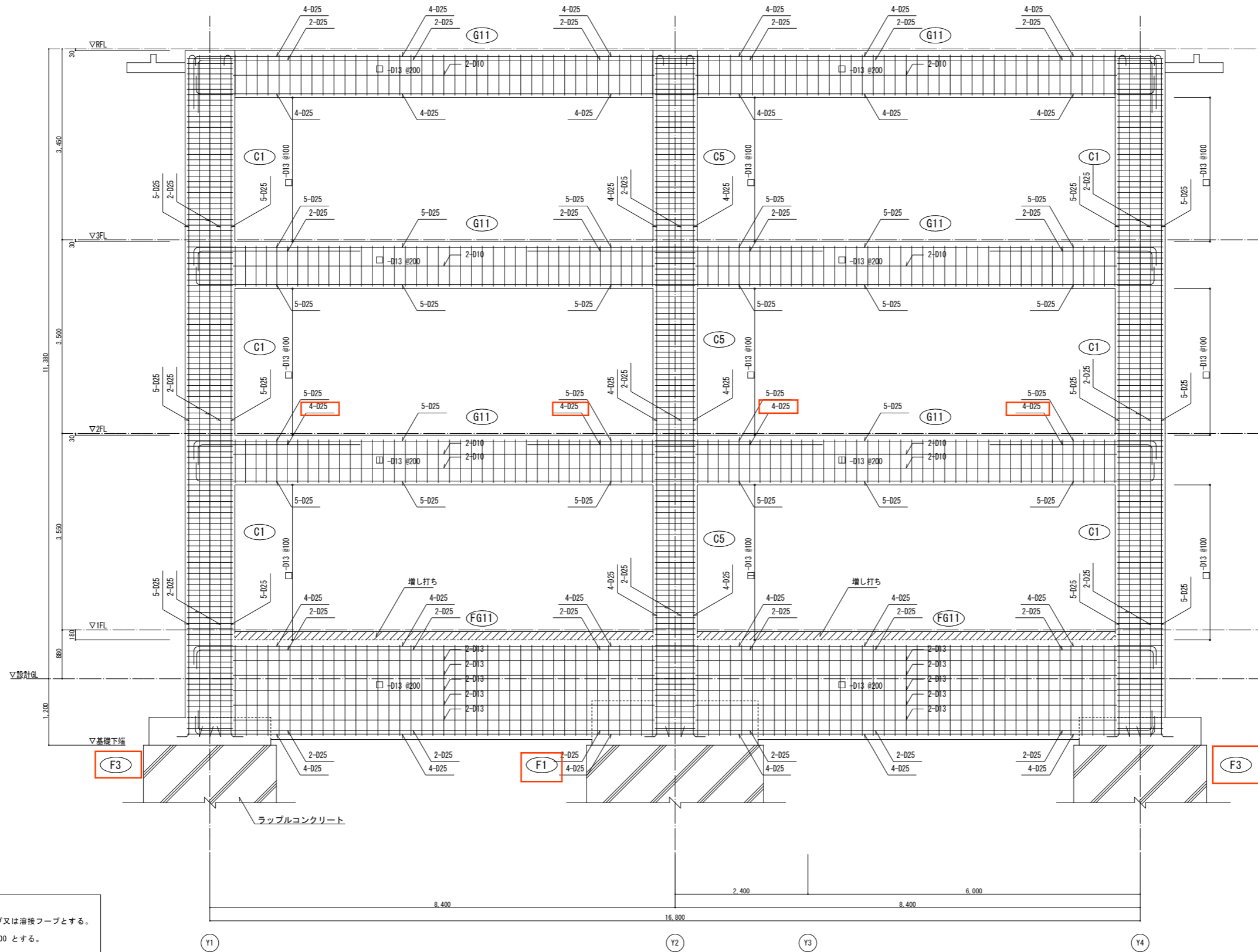
共通事項 特記なき限り ・ 端部定着長さは、ふかし部分を除く。

符号	版厚	位置	短辺方向 (主筋)		長辺方向 (配力筋)		備考
			端部	中央部	端部	中央部	
S 1	150	上筋	D13 #200	∟	D10 #200	∟	
		下筋	D10 D13 #200	∟	D10 #200	∟	
S 2	150	上筋	D10 D13 #200	∟	D10 #200	∟	
		下筋	D10 #200	∟	D10 #200	∟	
FS 1	250	上筋	D10 D13 #200	∟	D10 #200	∟	
		下筋	D10 D13 #200	∟	D10 #200	∟	
FS 2	550	上筋	D19 #200	∟	D19 #200	∟	
		下筋	D19 #100	∟	D19 #100	∟	



変更後

一級建築士 第312460号
構造設計一級建築士 第7865号
寺田 賢一



X4通り架構配筋詳細図 S=1/40

- 共通事項 特記なき限り
- 柱
 - ・帯筋は、スパイラルフープ又は溶接フープとする。
 - ・仕口内帯筋は、□-D13 #100 とする。
 - 梁
 - ・巾止筋 D10 #1,000
 - ・腹筋 2-D10

変更後

一級建築士 第312460号
 構造設計一級建築士 第 7865号
 寺田 賢一

記	山梨大学 施設・環境部				業務名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営設計業務		工事名称 山梨大学(北新)ワイン科学研究センター新営工事		設計年月 令和2年7月	
	図	表	補	備	株式会社 総企画設計 西東京支店	一級建築士事務所 東京都知事登録 第59590号 一級建築士(大臣) 第233766号 管理建築士 宮田 弥吉郎	図	名	図面名称 X4通り架構配筋詳細図	縮尺 A1:1/40 A3:1/80
号									図面番号 S-19	